

平成24年度 シラバス	学年・期間・区分	5年次・後期・B群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 土木工学科		
社会概説IV (Introduction to Social Study IV)	担当教員	中村 隆文 (Nakamura, Takafumi)		
	教員室	一般科棟3階 (TEL: 42-9043)		
	E-Mail	nakamura@kagoshima-ct.ac.jp		
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義 / 学修単位 [講義II] / 2単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (100分) + 自学自習 (200分)] × 18回			
[本科目の目標] 時事的な社会的・倫理的問題について、哲学的観点からそれを分析・考察し、それに対する自身の考え方について、その理論的な正当化可能性を検証できるようになることが本科目の目標である。なお、英語文献購読および英語による質疑応答を行う。				
[本科目の位置付け] 4年次の「倫理学」「哲学」、および5年次の「技術倫理総論」の内容を補完するものである。「技術倫理総論」では、技術者の直面する倫理的課題に対する解決の基礎的手法を考察するのに対し、本科目では、さまざまな倫理的問題の背景を捉え、その詳細を分析することによって、そうした問題がどのような意味をもっているのかを多様な角度から見つめなおすものである。				
[学習上の留意点] 単になる暗記に終わることなく、自分自身で問題を考え抜く態度を身につけること。教科書や適宜配布するプリントを参考に毎回復習し、200分以上の自学自習を行うこと。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容	
1. 世界の宗教・民族紛争事情	5	<input type="checkbox"/> ユダヤ教・キリスト教・イスラム教の共通点と差異およびそれぞれの意義について、適切に理解できる。	左の項目について、図書館の文献やインターネットで概略を理解しておく	
2. 資本主義 vs. 共産主義の歴史	5	<input type="checkbox"/> 産業革命後の資本主義、およびその反動として生じたマルクスの社会主義・共産主義の歴史的意義について正しく理解できる。		
3. 公平はどのように実現できるか?	4	<input type="checkbox"/> 近代以降のロック流の社会契約論、および20世紀のロールズの正義論などの理論的枠組みを正しく理解できる。		
前期中間試験	2	授業項目1～3についての達成度を確認する。		
4. 合理的人間はどのように道徳的人間となりうるのか?	8	<input type="checkbox"/> 道徳と合理性との繋がりについて、D.ゴティエの議論を理解しながら「合理的譲歩」の概念を理解できる。		
5. 環境問題における「問題」とは本当のところ何が問題とされているのか?	8	<input type="checkbox"/> 非人間中心主義 vs. 人間中心主義の議論、土地倫理や世代間倫理などについて理解できる。		
前期期末試験	2	授業項目4～5についての達成度を確認する。		
試験答案の返却・解説	2	試験において誤った部分を理解できる。		
[教科書] なし				
[参考書・補助教材] 必要な資料文献は適宜プリントして配布する。				
[成績評価の基準] 中間試験および期末試験成績 (100%) — 授業態度 (20%)				
[本科 (準学士課程) の学習教育目標との関連] 1-a, 4-b				
[教育プログラムの学習・教育目標との関連] 1-1, 4-1				
[JABEEとの関連] (a), (b)				

Memo
